

十勝農業の今を知り 未来を読み解く

# キャベツ無人収穫機の開発へ 鹿追スマート農業プロジェクト

冷涼な気候条件を生かして、キャベツが栽培される鹿追町では、農水省のスマート農業加速化実証プロジェクトが展開されている。キャベツ無人収穫機の開発やビート大型収穫機を活用した農作業の省力化、ドローンを用いた有害鳥獣の駆除の効率性を高めることで、持続的な生産基盤の構築を目指している。

2020年から始まったプロジェクトは「加工キャベツを導入した大型畑作経営でのスマート農業技術（鳥獣害対策含め）の低コスト化を目指したマシーネリング体系の実証」。本年度が最終年度となる。実施主体は、JA鹿追町、北海道農業研究センター、東京大学、立命館大学、農機具メーカー、十勝農協連、十勝農業改良普及センター十勝西部支所、鹿追町などで構成される「鹿追町スマート農業実証コンソーシアム」（実証代表者：今田伸二・JA鹿追町営農部審議役）。

最終的には、①キャベツ自動収穫機を中心とした機械化一貫体系を実証し、省力化により労働力を50%削減する②所有者が異なる農地の集約（トランスボーダーファーム）と、農業機械を計画的に運行させて最大効率化をするためのスケジューリング管理（マシーネリング）で、機械運行と高効率機械の効率化を図り、経営コストの10%削減・所得の20%向上との目標を掲げる。9月に開かれた現地検討会では、キャベツ自動収穫システムの実証状況について紹介。ICT（情報通信技術）を用いて、キャベツを最少人数で効率的に収穫し、運搬する様子などを披露した。

また、キャベツやビートの収穫適期予測や、低コストで省力化も目指した可変施肥マップ作成などの実証では、データの集約化を図るため、十勝農協連の「十勝地域組合員総合支援システム（TAF）」を活用。今年度は、ほ場作図や気象情報の提供など、必要な機能の構築も進めている。



最少人数で効率的に収穫して運搬する「キャベツ自動収穫システム」（9月、鹿追町）=JA鹿追町提供



「鹿追町スマート農業実証コンソーシアム」の現地検討会（9月、鹿追町）=JA鹿追町提供

## 重機農機出張鑑定団!

帯広・十勝 エリアの皆さん!



CATタイヤショベル



トヨタフォークリフト



タカキタロールベラー

**軽トラック 軽バンなどはたらくクルマ大歓迎!**

今回のクルマさん



ヒノモト  
トラクター

こんなクルマも買取れる? おしえて! カイトリチュー!

走行距離 30万km以上でも **買取ります!**

事故車でキズ・凹みあり... **問題なし!**

車検切れ動かせなくても **お任せ下さい!**

電話でカンタン! お申込み。

お申込
査定
ご契約
引取
お振込

**満足** レンジャー家畜運搬車 H9年式

帯広・十勝管内 帯広・幕別・音更・広尾・新得・足寄 **無料でお伺いします!**

**T&G GARAGE** 出張査定受付センター **0120-999-999**

ディーバイディーガレージ帯広店: 帯広市西5条南27丁目1番地7 北海道公安委員会許可 古物商許可番号: 第101020001258号